

## 第1回評価・標準化研究会議事要旨（2010年度）

日時：平成22年4月20日（火）14:00-17:30

場所：東京大学 生産技術研究所 Bw601号室

出席者：飯倉・稲澤・沖・島田・杉田・田殿・田村・千葉・筒井・李・渡辺・他1名

### 議事

#### 1. 会長挨拶および近況報告

飯倉会長から研究会の趣旨等の挨拶があり、各研究会員から近況の報告が行なわれた。

#### 2. 話題提供と議論（テーマ：SAR画像の幾何補正）

以下の2つの内容が話題提供され、SAR画像幾何補正の評価・標準化について活発に議論された。

##### （1） SAR画像ピクセルの緯度経度変換とオルソ変換について 島田政信（JAXA）

SARの歴史から、映像化の基本、幾何補正の基本原則とALOS-PALSARの幾何学情報抽出、オルソ画像精度、地形効果補正について講演があった。

##### （2） 簡便な倒れ込み補正と幾何的な精度の評価法 飯倉善和（弘前大学）

SAR画像の倒れ込み補正の原理と、PALSARレベル1.5画像データに付属するシステム情報を利用した簡便な倒れ込み補正の具体的な方法について講演があった。

#### 3. 今後の研究会について

今後の研究会活動として、光学、SARの幾何補正方法の評価・標準化の検討成果について整理して学会等にて普及を進めると共に、次回の研究会の課題として物理量への変換方法（地形効果補正、大気補正）について検討を進めていくこととした。

以上